

株式会社テクノマセマティカル

2007年3月期 決算説明会

■ Algorithm Specialist

TMC

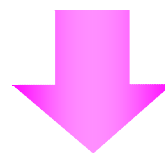
2007年5月25日

<注意>

本資料は実際の説明会で使われたものの抜粋となります。あらかじめご了承ください。

当社の基幹業務 (1)

2000年6月設立当初から
“アルゴリズム開発” をビジネスの基幹と位置付け



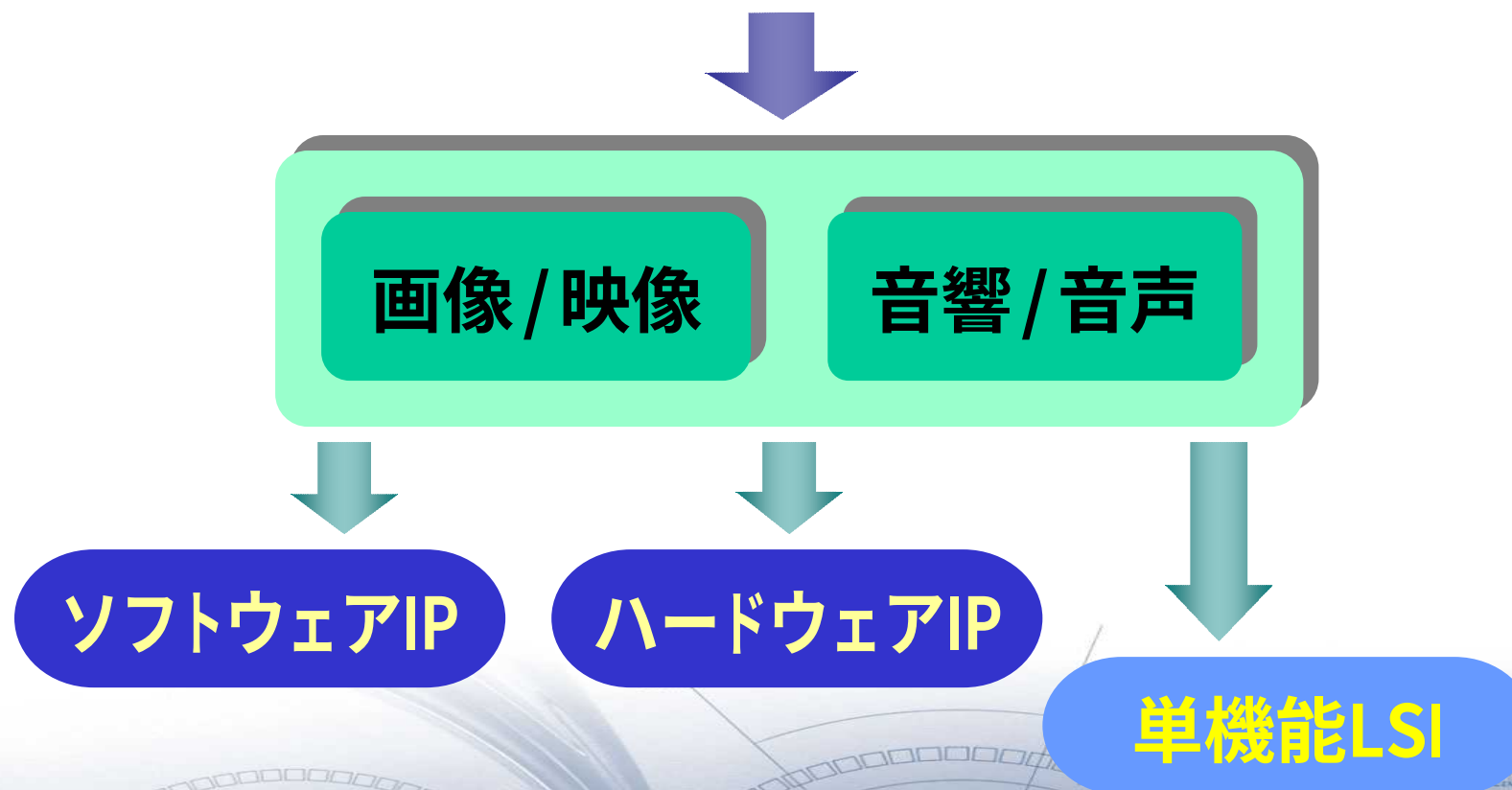
Algorithm Specialist

TMC

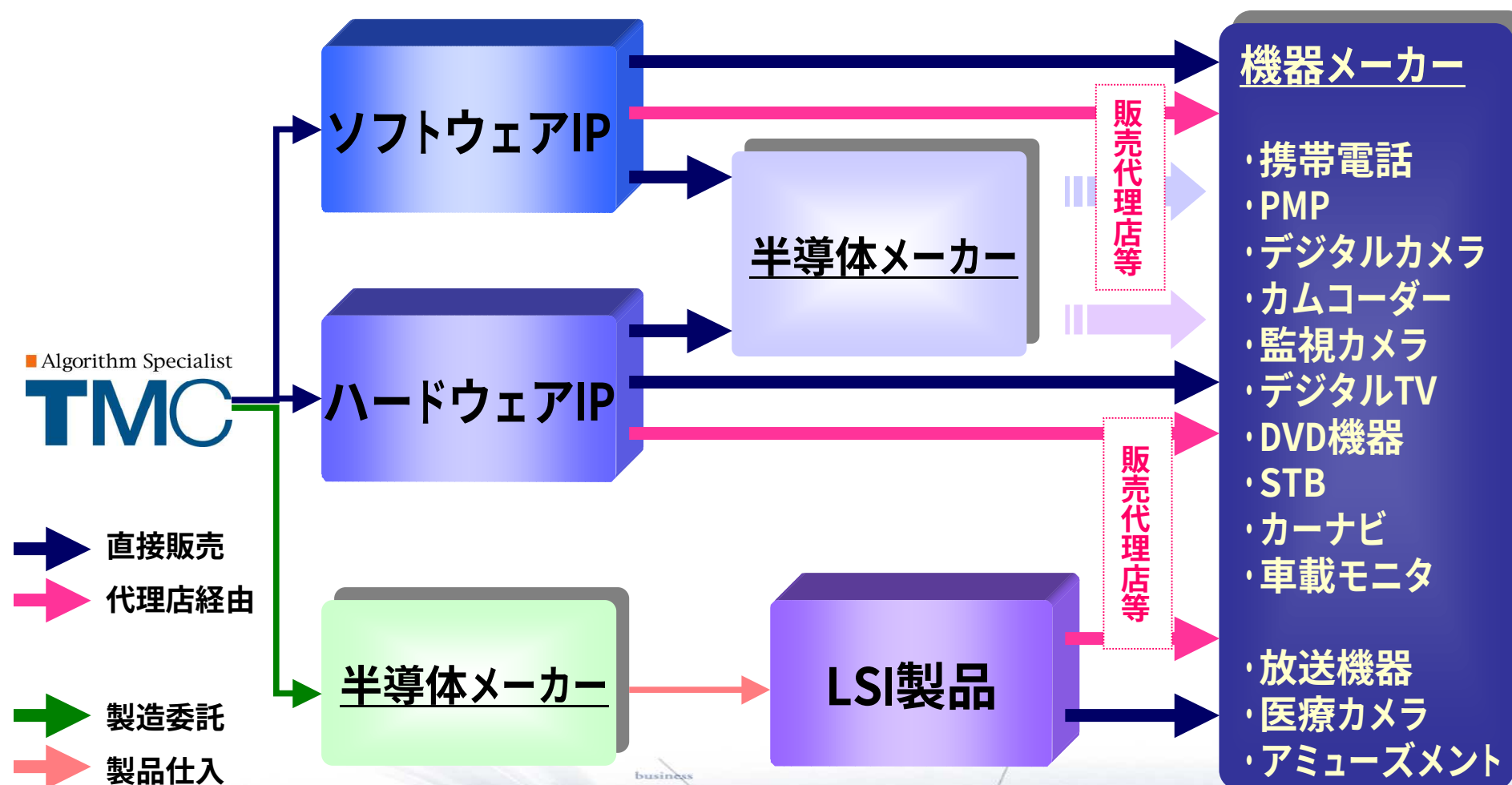
当社の基幹業務 (2)

DMNA (Digital Media New Algorithm)

テクノ マセマティカルが開発したアルゴリズムの愛称名



ビジネスの流れ



Agenda

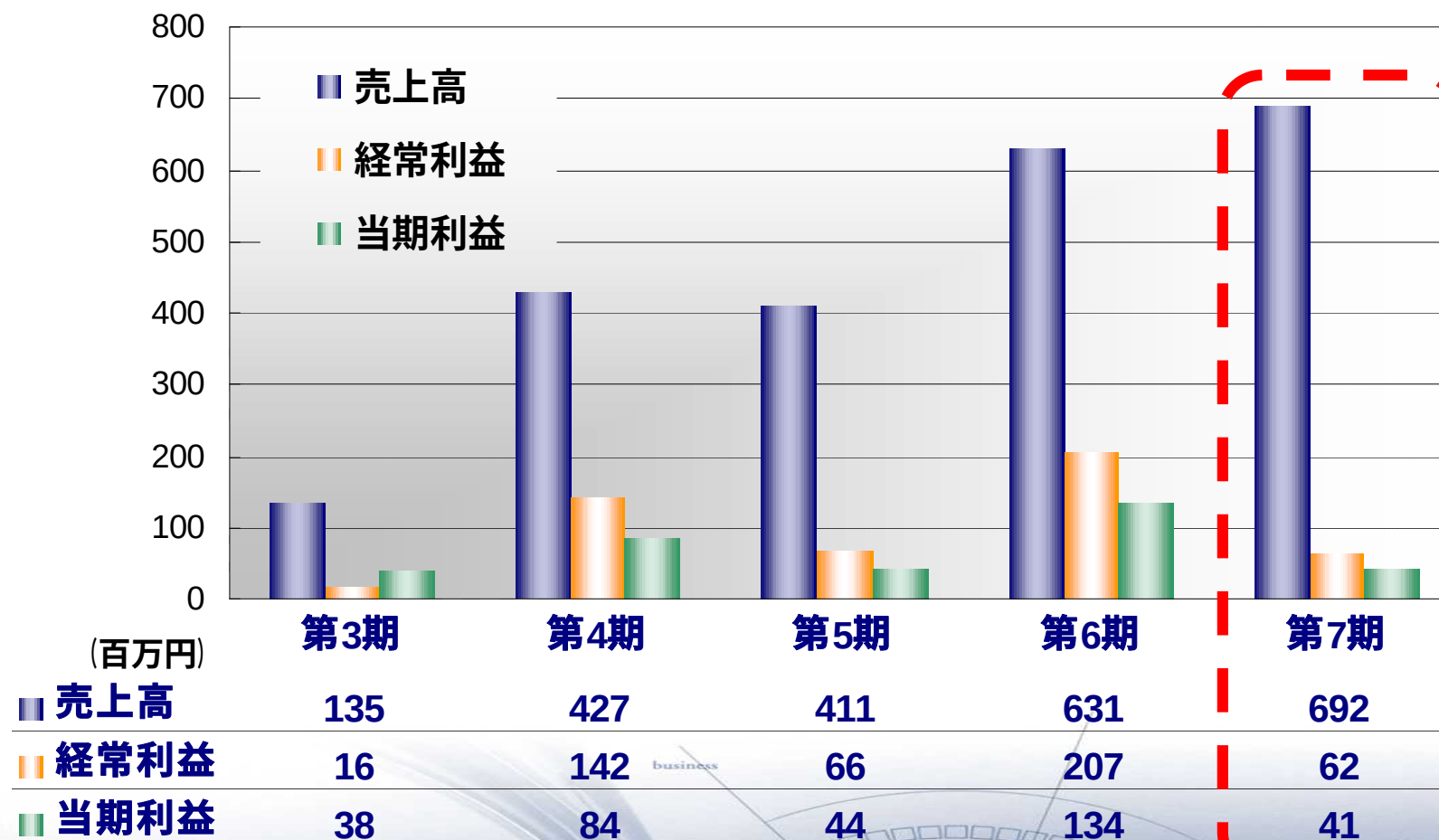
- 2007年3月期 決算の概要
- 2008年3月期の業績見通し
- 事業戦略・方針について
 - 参考資料

本説明会および説明会資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づいて、当社が判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なることがありますことをご了承ください。

業績の推移

- ◆ 前年実績に対して増収減益
- ◆ 人員増と単機能LSI事業開始の際の初期コストにより、利益が減少



損益計算書 (2006/4/1－2007/3/31)

(単位：百万円)	2007/3期	構成比	前期比	2006/3期
売上高	692	100.0%	+9.7%	631
売上総利益	558	80.7%	▲6.2%	595
販売管理費	472	68.3%	+27.3%	371
営業利益	85	12.4%	▲61.7%	224
経常利益	62	9.0%	▲70.0%	207
当期純利益	41	6.0%	▲69.2%	134
従業員数	34名		+5名	29名

<参考> 2005年3月期末の従業員数 = 24名

貸借対照表 (2007/3/31時点)

(単位: 百万円)	2007/3末	構成比	増減	2006/3末
流動資産	4,230	94.7%	+2,863	1,367
固定資産	238	5.3%	+170	68
資産合計	4,469	100.0%	+3,034	1,435
流動負債	118	2.7%	▲22	141
固定負債	—	0.0%	0	0
純資産	4,350	97.3%	+3,057	1,293

当初 業績予想との差異について

(単位:百万円)	予想	実績	差異金額	増減率
売上高	1,010	692	▲318	▲31.5%
経常利益	367	62	▲304	▲83.0%
当期利益	236	41	▲195	▲82.5%

(収入面)

- ◆単機能LSI事業の立ち上がりの遅れ
- ◆ロイヤリティ売上の発生の遅れ
- ◆一部案件における受注時期のずれ込み

(費用面)

- ◆単機能LSI事業の売上高の減少に伴い、売上原価が期初想定したものよりも抑えられた。

2007年3月期 トピックス

❖ 新規顧客の獲得

任天堂様、東芝様、横河電機様、etc...

(公表のご許可をいただいた先のみ記載しております)

❖ 量産採用製品の増加

新型ゲーム機、ポータブルオーディオプレーヤー、
ポータブルナビゲーションデバイス、プロジェクター

❖ 資金調達を実施

2007年3月期の採用実績例

2006年リリース製品

■ メディアプレイヤー (東芝様)



東芝 デジタルオーディオプレーヤー
Gigabeat V30T

H.264 BP Decoder SW
AAC_SBR Decoder SW
MPEG2 TS Decoder SW

■ ゲームコンソール (任天堂様)



任天堂 Wii

マルチメディアサポートパッケージ

■ プロジェクタ (カシオ様)



カシオ計算機 スーパースリムプロジェクタ
XJ/S35

JPEG Decoder SW
Motion JPEG Decoder SW
AAC LC Decoder SW
ADPCM Decoder SW
AVI Demux SW

■ カーナビ (日本ビクター様)



日本ビクター ポータブルナビ KV-PX9

WMV9 Decoder SW
MPEG4 Decoder SW
MP3 Decoder SW

主なプレスリリース等

07.5.16 オリジナル・エンコーダ／デコーダ「DMNA-Vシリーズ」のIPコアを開発
⇒圧縮率1 / 1000の画像圧縮を実現

07.2.26 フルHD (1920x1080 60i) 対応のH.264 エンコーダ / デコーダIPコアを提供
⇒業界最小クラスの回路規模と低消費電力を実現

06.12.20 フルHD (1920x1080 60i) 対応のMPEG-2エンコーダ / デコーダLSIの出荷
開始 ⇒デジタルハイビジョン映像に最適な単機能チップ

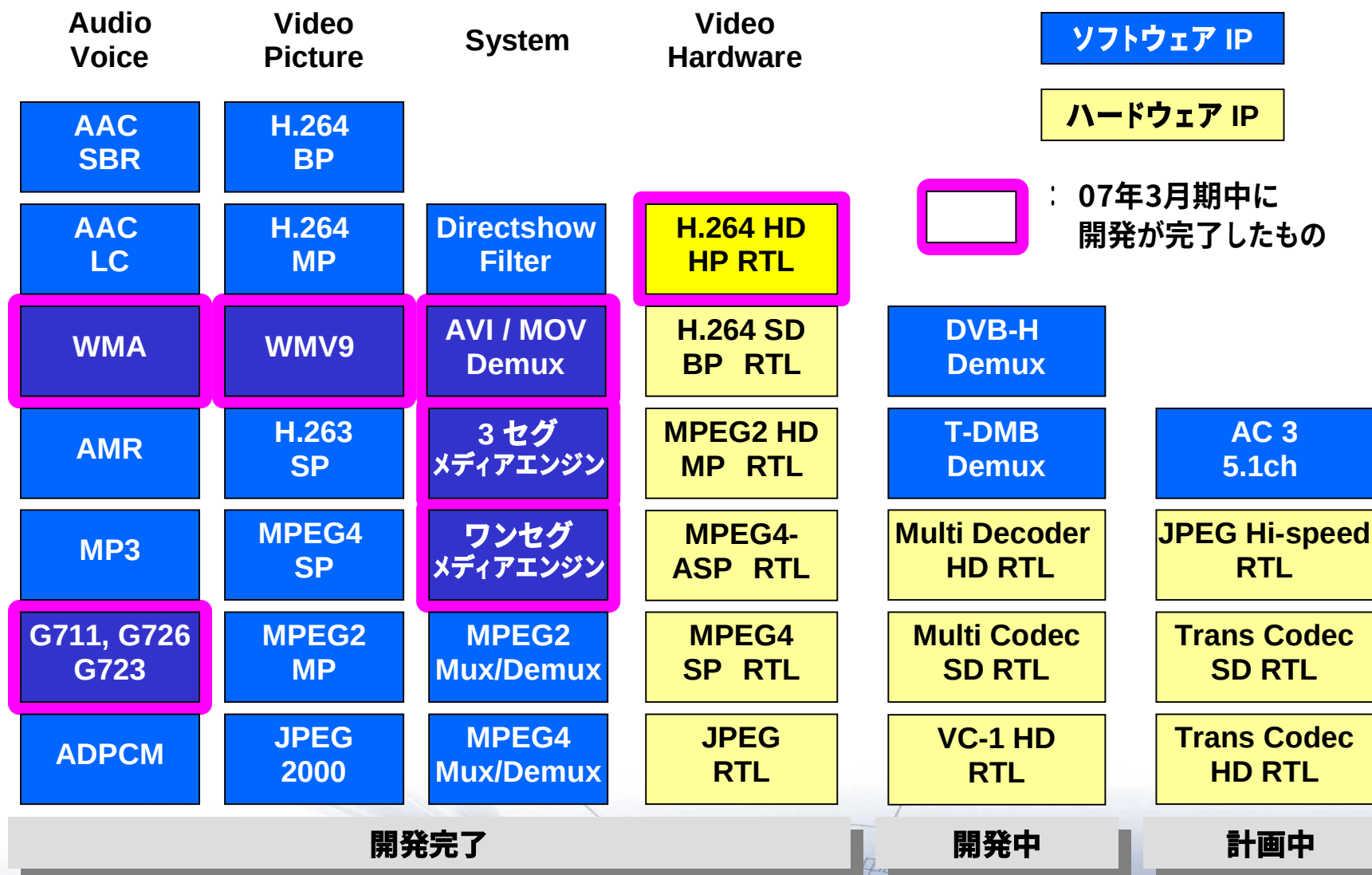
06.11.8 テキサス・インスツルメンツ製デジタルメディアプロセッサにソフトウェア提供
⇒携帯電話用途 (H.264テレビ電話、高品質動画撮影等)

06.10.26 横河電機のARIB運用規定対応 TS統合監視システムに採用
⇒放送局向けのフルセグ～ワンセグのシームレスな統合監視環境

06.10.18 任天堂の新型ゲーム機「Wii」にマルチメディアサポートパッケージを提供
⇒様々な映像・音楽フォーマットに対応する環境をサポート

06.10.12 カシオ計算機の新型スーパースリムプロジェクターに採用
⇒PCレスでのプレゼンテーション機能実現に寄与

ロードマップ



2008年3月期の業績予想

(単位:百万円)

	当期予想	増減	増減率	前期実績
売上高	1,100	+408	+69.0%	692
経常利益	249	+187	+301%	62
当期利益	163	+122	+298%	41

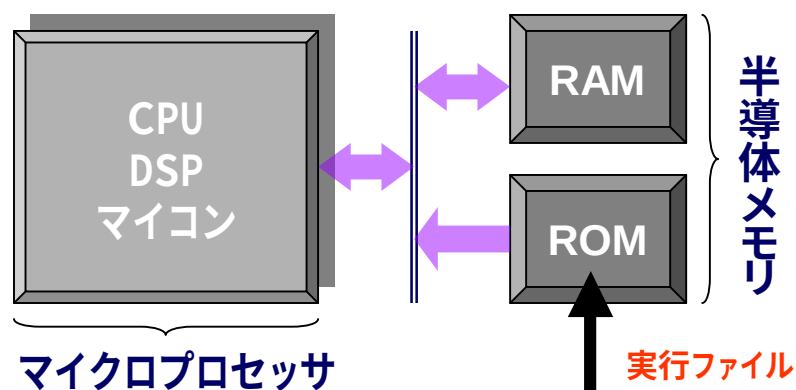
- ◆ ソフトウェアライセンス＝携帯機器関連で新規増の見込み
- ◆ ハードウェアライセンス＝現状の伸びを維持
- ◆ 単機能LSI＝本格的な立ち上げ、第2弾の開発・販売開始

ターゲット市場



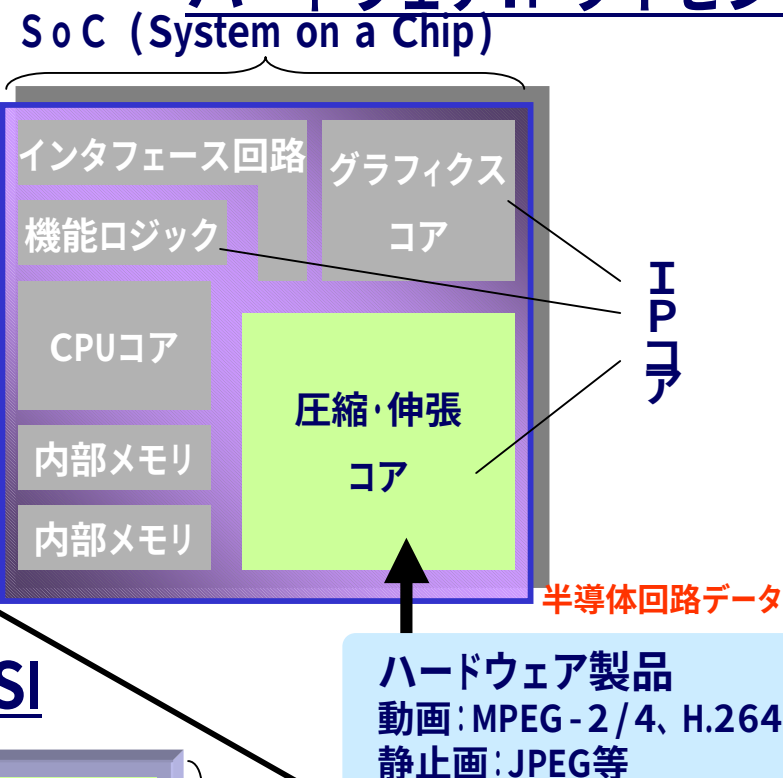
製品の種類について

ソフトウェアIPライセンス

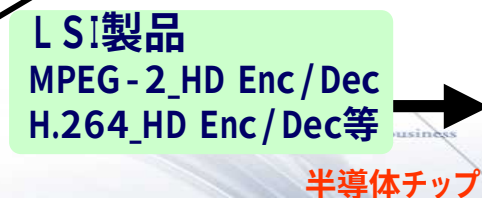


- ・NECEL
- ・ルネサス
- ・富士通
- ・Intel
- ・TI
- ・Freescale
- ・ARM
- ・MIPS
- ・
- ・

ハードウェアIPライセンス



単機能LSI



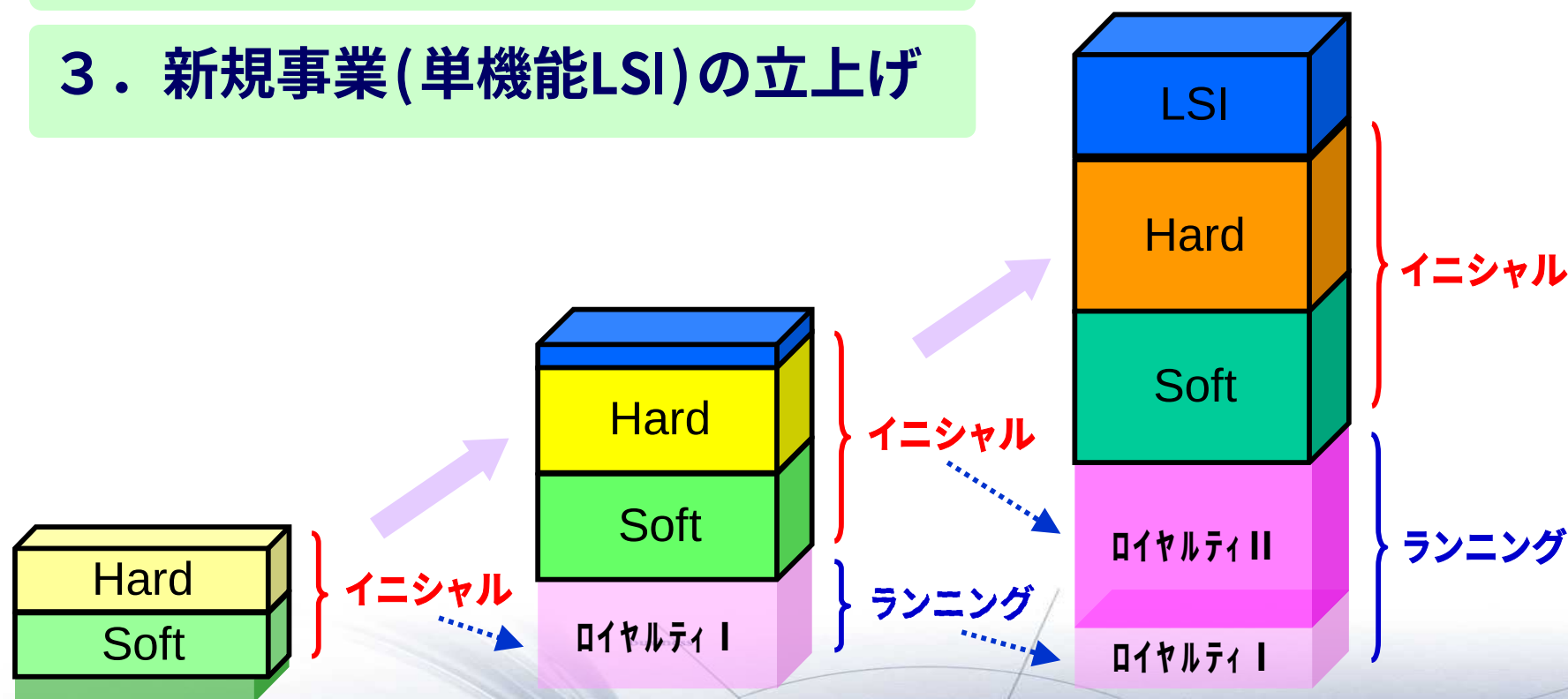
売上成長イメージ

1. イニシャルの積上げ

イニシャル増に伴う

2. ロイヤルティの積上げ

3. 新規事業(単機能LSI)の立上げ



当事業の特徴

1. 独自技術により、差別化された製品

「DMNA」を核とした独自アルゴリズム



2. 利益逡増型の収益構造

ライセンス・ロイヤルティモデルを主体とした収益力

3. 全世界に展開

国際標準規格準拠、日本発の映像 / 音響製品

4. 業容拡大による収益力の向上

売上・利益の絶対額増加、3本柱の確立

**アルゴリズムの分野で
世界のスタンダードになる！**

ご清聴ありがとうございます。

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。ここに示した意見は、本資料作成日現在の当社の意見を示すのみです。当社は、本資料中の情報を合理的な範囲で更新するようにしていますが、法令上の理由などにより、これをできない場合があります。

本資料および説明会内容についてのお問い合わせ先

株式会社テクノマセマティカル 管理部

TEL:03-5798-3636 E-mail:ir@tmath.co.jp